

成人おめでとう!!



1月13日(火)に、あらぐさで「成人を祝う会」を行いました。

今年の新成人は、リサイクル班の仲間で、「市川^{さや}佐耶」さんと、「高橋^{ゆうき}佑樹」さんです。

2人とも、上尾特別支援学校の卒業生で、学校の先生がお見えになり、大変喜んでいました。あらぐさのみなさんからお祝いの言葉を沢山いただき、一人ずつに「ありがとうございます。」と、2人で口をそろえてお礼を言っていました。仲間から歌のプレゼントもあり、ニコニコしていました。

毎年恒例の「やぎさん一座」による、20歳になるまでの写真を集めた『スライドショー』では、幼いころの写真を見て、周りのみんなからは、「キャーカワイイ♡」「え?この子が〇〇ちゃん(くん)なの?」など驚きの言葉で飛びかかっていました。2人は、照れくさそうにしていました。

また、仲間による『新成人クイズ』もやりました。〇×ゲーム方式でやり、新成人に答えを話してもらい流れでやっているもので、今年も大好評で、大いに盛り上がっていました。

これからも一生懸命あらぐさでお仕事がんばりましょうね!!

(関口)

第2クローバーハウス通信…冬

スプリンクラー設置！

全居室・リビング・廊下・倉庫内・脱衣場など全ての天井に、県の補助を頂きスプリンクラーを設置しました。昼間の入居者のいない時間の工事でしたが、約1月間と思ったより早くできました。建物の裏には大きなタンクが設置してあり、万が一の備えが出来ました。

一つ安心になりましたが、誤作動すると大量の水浸しになるようです。気を付けないといけないですね。

花園フォレスト・川の博物館に行ってきました！

12月23日(祝)に、第1クローバーハウス6名と第2クローバーハウス7名合同で「花園フォレスト」に行きました。クリスマスイブの前日の為混雑が予想されたので1月前にB I P ルームを予約しました。広い庭からはバラの香りが漂っていてとても優雅な気分で食事を楽しむことが出来ました。皆さん何度か来ているので自分でお皿を持ち好きなようにスパゲッティやカレーライス、サラダなどをテーブルに持ってきて食べていました。たくさんの種類のケーキを目の前にすると、全部食べてみたくなり、12種類を食べた仲間もいたそうです。おみやげ売り場も広々としていて豪華なクリスマスケーキにも見とれてしまいました。

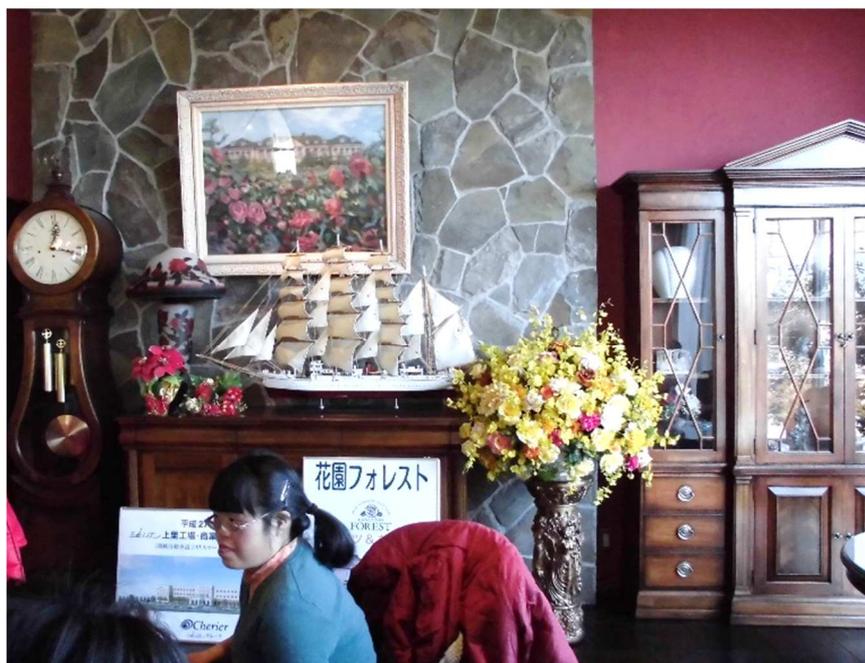
お腹がはち切れそうになったので、散歩がてら近くにある「川の博物館」に移動しました。超特大の水車が仲間達を出迎えているようでした。館内では、ちょうどアドベンチャーシアターが始まるところで(大画面に連動して座席が動くバーチャルシアター)スリリングな氷上の旅が楽しめました。

(相良)

川の博物館にて



花園フォレストにて



障害者生活支援センターあらくさのページ

～今、改めて「親亡きあと」を考える その2～

年末の12月30日付けの朝日新聞に、障害者に関わる2つの記事が掲載されていました。1つは**精神障害の息子を父親が殺してしまった事件で、父親に執行猶予判決がだされた**ことに関することと、同じ状況（子は入院中）を抱える家族の苦悩とそれに対する意見。

もう1つは、**80代の親と40代の寝たきりの子が、死亡して発見された記事**でした。

- ① 記事は猶予判決の是非についてや、家族に全責任を負わせる現在の医療・福祉・司法のありようについて様々な意見がだされていました。
- ② 親子死亡の件は、子がデイサービス（DS）には直前まで通っていて、それなりの福祉の関わりはあったなかでの事件でした。

2つの事件に共通していることは、日本的慣習（伝統）ともいえる、家族がずっと看続ける（障害の有無に限らず）、それがもう機能しなくなっている中で、起きているということで、もう特別なことではないということです。つまり、いつでもどこでもだれにでも起こり得ることを私たちは認識しなければなりません。

ここまで深刻ではないにしろ、高齢の親と中年・壮年期を迎えた子が置かれている状況は、それほど変わりがないと考えます。各種年金が目減りし、消費税が上がり、物価も上がる中で、生活は厳しくなる一方です。障害の親子・家族を守るために何が必要でしょうか。これまでの法「改正」の経過で、仲間や家族と福祉関係職員がともすれば対立するような（契約制度）構図が作られてきましたが、やはり原点に戻り、共感関係をつくり、一致する目標を見出しながら、みんなの願いを実現していくしかありません。

親亡きあとの課題も、「早く預けないと大変（現状はそうですが）」、「遠方の施設では」、「ホームは運営が・・・」、「うちの子はホームではみてもらえない」と、これまで言ってきたことだけではなく、親や子である仲間の人生や生活をどう良くしていくかの視点をもう一度持って、きちんと議論し、言うべきことは言う。自分たちもがんばるけど、最後の責任はやはり国の公的責任にあることを明確にしていきたいと、改めて考えます。

この間親亡きあとについて、別項で後援会や家族会が、他団体の家族も含めて施設見学や、後見人の学習会を行って、今後に備えていこうという気持ちを少しずつですが持ち始めました。こういったことを積み重ねて、家族のありようや、親亡きあと、それぞれの自立、暮らしのことを考え行動することが大切だと考えます。

みんなで考える中で、「自分が(親)元気なうちは家族で」ではなく、本来の成人になったら独立して生活を営む、高齢になったら、きちんと福祉で保障する。そんな社会を目指し、「親なきあと」が早く死語になるように、支援センターとして微力ながらやっていきたいと年頭にあって決意しています。

【歌った！踊った！！

ライオネスコンサート】

12月12日（金）、上尾市コミュニティセンターを会場にして、第19回ライオネスコンサートが行われました。このコンサートは、あらぐさが毎年参加している地域コンサート事業の一つです。あらぐさを含む市内障害関係5団体がもち時間15分のステージ発表をしました。今回のあらぐさの出し物は、踊り「ロックソーラン」と合唱「花は咲く」でした。

「ロックソーラン」は、数年前あらぐさで取り組んだことのある踊りです。ライオネスコンサートのために再度チャレンジということになりました。数年前に踊ったときにはなかったロングはっぴとはちまきを新調して息を合わせて踊りました。「花は咲く」は、2015年3月8日に行われる「あらぐさコンサート」で発表する予定になっている曲です。踊りと合唱の練習は11月初めから開始しました。

練習期間中からみんなは意欲的に取り組みました。そして迎えた本番、とても元気の良い発表ができました。合唱の声は大きく、踊りはダイナミックに、発表が終わった後の会場の拍手にみんな良い笑顔をしていました。

3月の「あらぐさコンサート」は、会場を文化センターに変えて行われます。そこではロックソーランはありませんが、さらに練習を重ねた「花は咲く」をステージで発表したいと思います。みなさん、ぜひ「あらぐさコンサート」にお越しください。

（高橋）

クリスマス会

12月20日（土）に恒例の地域交流事業としてクリスマス会を開催しました。今回は「音日和」さんによるクリスマスミニコンサートとやぎさん一座による紙芝居の2本立てでクリスマス会を盛りあげていただきました。

「音日和」さんから来ていただいたミュージシャンは音楽療法をされているセラピストの方で普段から音楽を通しての交流を実践されているそうです。当日も耳馴染みのクリスマスソングに仲間たちは鈴、タンバリンなどを鳴らしながら盛り上がっていました。時には「アメイジンググレイス」や「星に願いを」をしっとり聞かせてくれたかおもうと昨年大ヒットしたアナと雪の女王の「retitgo」であらぐさダンサーズのダンスを盛り上げてくれたりと楽しい時間を過ごすことができました。即興でハンドベルの合奏も体験しました。素敵な音色を奏でていました。最後にライオネスコンサートで歌った「花は咲く」をみんなで大合唱しました。



やぎさん一座の紙芝居は何回か実演していただいています。毎回仲間たちは楽しみにしています。今回も会場との掛け合いよろしく盛り上げてくれました。やぎさんからの投げかけにかけに仲間たちも真剣に答えていました。お話には静かに耳を傾けていました。

最後に仲間のトナカイのベルに誘導されながらサンタの登場です。会場に集まった一人ひとりに素敵なクリスマスプレゼントが配られました。

一年に一度のお楽しみ会である「クリスマス会」でしたが、和気あいあいとした雰囲気です。こういった会をこれからも大切にしていきたいと思えます。

できるならば地域の方をたくさん呼び出して地域の方とも交流していけるような会にしていけるよう工夫していきたいと思っています。

(岩渕 敦子)



第38次署名へのご協力お願い致します

あけましておめでとうございます。昨年は雑草へのご理解とご支援をいただき本当にありがとうございました。今年もよろしくお願ひ致します。今年『第20回あらぐさコンサート』を開催致します。今までは著名な方を招いてきましたが、今回は『上尾市民吹奏楽団』様です。雑草は「地域にねざす」を理念に発足以来活動してきました。20回の節目に原点に立ち返ろうと、今回の内容になりました。さらに地域の障害者事業所にロビーでの販売のお願ひをしました。数団体が参加してくださいます。どんなコンサートになるか期待と不安で一杯です。おいで下さったお客様に楽しく過ごして頂けるよう頑張りますので、ぜひいらしてください。

さて、昨年末、突然の総選挙があり与党が多数を占め安倍内閣が再スタートしました。「なぜ今?」「税金の無駄遣い」という声も多く聞きました。しかし多くのマスコミはその追及はせず「自民圧勝」と予測するだけでした。安倍首相は有権者比17%の得票率でも「信任を得た」とばかりに今までの道を進もうとしています。『集団的自衛権行使』、『消費税増税』、『TPP加盟』。それは、『海外で戦争する国を作る』、『大企業・高額所得者の優遇、貧困格差の拡大』、『農業・医療・産業等々の破壊』であり、私たちの望まない危険な道としか思えません。世論が反映していない選挙を変え、弱者にも優しい政治にしたいですね。

福祉分野では、社会福祉法人制度の見直しという議論が出ています。例えば「社会福祉法人は内部留保を溜めている。それを使って社会貢献をすべきだ」というものです。社会貢献とは、具体的には、生活困窮者への資金援助や学校への本の寄付など多岐にわたる内容です。発端は、福祉もいわゆる『規制緩和』が進み、企業が介護・保育・障害分野へ参入した結果、企業側から「社会福祉法人が税金を納めないのは不公平だ」との声が上がりました。それを受け政府が制度を見直そうと今回の動きになったようです。しかし、政府の社会保障の失敗、企業の低賃金の『つけ』を福祉が払うのは納得いきません。また、法人には内部留保という定義はありません。『余裕財産』があっても利用者の支援のために使うもので、政府のいう莫大な財産をため込んでいる社会福祉法人などごく一部です。利潤追求を目的とする企業参入により、支援の格差の拡大と質の低下が始まっている現状を食い止め、本来の福祉事業を取り戻さなくてはなりません。その為『きょうされん』関係の法人が集まって『社会福祉法人の在り方検討会』を立ち上げました。学習と運動を進めたいと思います。

また、来年度からの事業者への介護保険報酬と障害者支援費の単価切り下げが検討されています。1月12日に出された案は、『介護』2.27%切り下げ『障害』は据え置きですが、実質的には、『介護』は4%、『障害』は1.78%の切り下げです。これでは仲間の支援に必要な職員の確保が更に困難になってしまいます。雑草でも職員確保は最大の課題です（意欲のある誠実な方を募集しています）。福祉の切り下げ反対の声を上げなくてはこの道は進んでしまいます。『きょうされん』は、仲間たちが「あたりまえに働き、えらべる暮らしを」おくれるように、障害者総合支援法を見直すことを要求していきます。その一つが、第38次国会請願署名です。この流れを変えるのに署名が大きな力になります。署名用紙がお手元に届いたらぜひご協力をお願い致します。

そんな中でも、雑草は「地域に根ざす」を根底に、ご家族の要望や必要性から新しい事業所やグループホームを作りたいと考えています。今後ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。

後援会のページ

寒中お見舞い申し上げます

昨年、後援会学習会で「成年後見人制度」について学びました。初めて知る制度で、今後必要となる制度でしたので、皆真剣に学んでいました。障害を持つ子の親にとって、親亡き後の事を考え準備しなければならない事が沢山あります。

衣食住・仕事・お金・本人の気持ちの安定など今、親が活着ているうちに整えてあげなければと焦ります。そして時々親が亡くなった後、ほんとうに幸せに暮らしていけるのだろうかとすごく不安になることもあります。でも親の力だけではどうにもなりません。回りの力になって下さる方がいればこそ前進できるのです。

改めて後援会会員の皆様のご支援、ご協力にはほんとうに感謝しております。皆様の力が私たちの励みでもありますので、今年もどうぞよろしくお願い致します。

あらぐさ福祉会後援会 会長 高橋弘美

昨年 11 月 25 日(火)に、後援会では弁護士による「成年後見人制度」についての学習会が文化センターで行われました。参加された方々の感想をご紹介します。

家の子が生まれてから、ずっと親亡き後はどうなるのだろう・・・と考えていました。そして、兄弟がいるから任せるしかないとも思っていました。ところが「成年後見人制度」という言葉は聞いていましたが、我が家でも利用することができる聞き、勉強会に参加しました。今すぐ必要ではないですが、いつかはということを考えて私だけでなく家族全員と共通認識がないといけなと感じます。いざという時のことを改めて考えていきたいと思ひます。まだ先のことと思うと忘れがちなので、1〜2年ごとに勉強会を開いていただけるとありがたいです。

新聞等で読み少しは理解しているつもりでしたが、先生の事例をあげてのお話を聞き、親亡き後の子供の生活を守るためには、なくてはならない制度であることを痛感しました。又、早急に相談したいと思ひました。

10月7日、「花園」の見学に参加された方の感想をご紹介します。

時間がゆっくり過ぎていくようなのどかな場所にある入所施設でした。作業室では利用者さん達が器用な手つきで黙々とこなしていました。やりがいを持ってひたむきに働く姿に偉いと感じずにはいられませんでした。生活スペースの部屋は、飾り気はないものの、ポスターを張ったりして自分の居場所を思い思いに作り、リラックスして生活しているようでした。

いずれは子どもも親元を離れて暮らす時がきます。そのためにも親としてその選択肢を準備しておかななくてはなりません。はたしてうちの子は自立できるのだろうか。悩みはつきません。子どもの将来のため安心して暮らしていけるよう「居場所」を作るのが親の責任だと思ひます。その思いをより強くした見学でした。

お知らせコーナー

バレンタインセット 受付中

バレンタインセット

アマンドショコラ2袋 + クッキー1袋
950円



トリュフ(生チョコ)

5個入り 650円
10個入り 1300円



アマンドショコラ 270円
(パリパリ!カリカリ!)



～編集後記～

昨年は消費税が5%から8%増税になりました。景気回復が見られないまま、更に来年の4月から10%増税が実施されると、私たちの生活は厳しい状況になるでしょう。将来の不安は増すばかりです。そんな中で、後援会員の皆様にはお願いばかりで申し訳ありません。でも、寄せて下さった会費などは今後、地域に貢献することも含め仲間達のために役立てていきたいと思っております。今年もよろしくお願い致します。(本橋)